



学校教育目標 「ただこの時に燃えよ — 顔はひまわり 心は思いやり —」

市郡中総体を終えて

努力は裏切らない…

「努力は裏切らないということを実感できました」先日の報告会で、バレー部の主将が述べた言葉です。バレー部は、あと一步のところまで予選リーグの突破を逃しましたが、その戦いぶりは、春季大会とは大きく異なりました。笑顔で声を掛け合いバレーを楽しむ姿や、ピンチになっても弱気にならずに立ち向かう姿が見えました。短い期間にチームとして大きく成長した陰には、『苦しい努力』があったのだと思います。

バスケット部の戦いからも、大きな成長を感じました。一人一人が自信をもってプレーをしていました。春には仲間に頼ってパスしていた選手が、仲間を信頼してパスしている姿に、自信が見え、感動しました。春季大会での主力選手のケガが、他の選手の自覚を促し、チームの成長につながったのだと思います。

3年生の皆さん、運動だけでなく、学習でも「努力は裏切りません」苦しいことに耐えて、努力を重ねれば、必ず成長し自分に自信がもてるようになります。3年間の部活動で培った努力できる力を、これからの受験勉強にも生かしてくれることを期待しています。

負けに不思議の負けはなし

私は、報告会の際に、元プロ野球選手の故野村克也さんの「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けはなし」という言葉を紹介し、目標を実現できなかった生徒は、負けの原因を分析し、次の目標の実現につなげてほしいと話しました。実は、この言葉は文武両道で、剣術にも長け、教育にも熱心だった江戸末期の肥前国の大名「松浦静山」の言葉です。

7月1日には、吹奏楽部が中央地区コンクールに、翌週には剣道部が県総体に、その翌週には、サッカー部、柔道部、陸上部が、県総体にチャレンジします。ラグビー、水泳、ゴルフ、バドミントンに臨む生徒もいます。実力を全て発揮しても全国大会で優勝しない限り、必ず負けに向き合うことになります。負けとどのように向き合うかが大切です。負けを分析することが成功への近道だということを忘れないでください。



大会結果を報告するバレー部主将



大会結果を報告するバスケット部主将



全県総体に出場する剣道部員



全県総体に出場する陸上部員

部活動の地域移行について

先日は、潟上市教育委員会が実施した「部活動地域移行に係るアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。このあと、アンケート結果を基に、市教育委員会が移行の計画案を作成する予定です。第1回検討委員会で確認された主なことについてお知らせします。

【部活動の課題】

- 少子化の進展により、従前と同様の学校単位での体制での運営は困難である。
- 必ずしも専門性や意思に関わらず教師が顧問を務める指導体制の継続は、学校の働き方改革が進む中で、困難である。

【目指す方向性】

- 少子化が進む中でも、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保する。
- 「地域の子どもたちは、地域で育てる」という意識の下、地域のスポーツ・文化資源を最大限活用し、生徒のニーズに応じた多様で豊かな活動を実現する。
- 生徒のみならず、地域住民にとってもよりよいスポーツ・文化芸術の環境を整備する。

潟上市としては、今後、3年間で移行できる部活動から移行していく予定です。今後も保護者の皆様へ丁寧に説明しながら、ご意見を伺い、移行を進めていくこととなりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

<学校の働き方改革について>

秋田県教育委員会では、2021年に「教職員が実感できる多忙化防止計画」を策定し、現在、次の目的と目標を立て働き方改革を進めています。

【目的】

- 子どもと向き合う時間の確保と充実した教育活動の推進→生徒と向き合う先生が元気
- 教職員の健康保持とワーク・ライフ・バランスの充実→自分の家族と向き合う先生も元気

【達成目標】（全校種共通）

- 全教職員の時間外在校等時間を月45時間以内、1年間で360時間以内とする。

※月当たりの時間外在校等時間数が80時間を超える教職員の割合を令和5年度までに0（ゼロ）にする。

右上の表は、本校教員の今年度5月の時間外在校等時間です。月45時間以内の職員が2名しかいません。また、部活動の主担当の半数以上が80時間を超えています。土日の部活動指導を除くと、80時間を超える職員は3名になります。このことが土日の部活動の地域移行が喫緊の課題になっている要因の一つです。

5月は、3年修学旅行や1年宿泊学習、2年校外学習、体育祭、中総体に向けた練習などが重なり、先生方の献身的な取組に頼ることになってしまいました。昨年度より「電話対応は18時30分までに」「欠席等の連絡はメールで」等の取組を保護者の皆様の協力を得ながら進めております。今後も、一層の改革が必要であることについて、ご理解願います。

5月の時間外在校等時間

No	合計	土日部活	平日
1	130	32	98
2	122	37	85
3	121	45	76
4	114	33	81
5	109	56	53
6	87	13	74
7	79	14	65
8	76	8	68
9	75	36	39
10	71	36	35
11	67	0	67
12	66	10	56
13	64	19	45
14	58	9	49
15	56	5	51
16	54	0	54
17	49	0	49
18	47	0	47
19	46	0	46
20	34	0	34
21	30	0	30
平均	74.7	15.3	59.4

Noが青色＝部活動の主担当
オレンジ色＝80時間以上
黄色＝46時間以上
※管理職を除く教員が対象

（文責 校長 櫻庭 豊）

令和5年度 男鹿潟上南秋中学校総合体育大会結果

【団体種目】

●野球<第3位>

準決勝

・天王南 1 - 2 羽城・五城目

●バスケットボール女子<準優勝>

・天王南 74 - 56 天王

・天王南 51 - 73 羽城

・天王南 69 - 56 五城目

・天王南 74 - 69 八郎潟・井川

●バレーボール女子

予選リーグ

・天王南 0 - 2 大潟

・天王南 1 - 2 男鹿南

・天王南 2 - 1 羽城



●剣道男子団体<優勝>

リーグ戦

・天王南 1 - 0 天王

・天王南 5 - 0 五城目

・天王南 2 - 0 羽城

☆全県出場



●サッカー<優勝>

・天王南 12 - 0 羽城・天王

☆全県出場

●ソフトテニス女子<準優勝>

リーグ戦

・天王南 3 - 0 天王

・天王南 2 - 1 五城目

・天王南 2 - 1 男鹿東

・天王南 0 - 3 八郎潟



●柔道<第5位>

・天王南 0 - 5 天王

・天王南 1 - 3 男鹿東

・天王南 3 - 0 井川義務

・天王南 1 - 2 五城目

・天王南 0 - 4 羽城

●陸上男子総合<準優勝>

●陸上女子総合<優勝>



【個人種目】

●柔道男子個人

・66kg級 第3位 [redacted]

・73kg級 第2位 [redacted] (全県出場)

・81kg級 第2位 [redacted] (全県出場)

●剣道男子 ※3名とも全県出場

・準優勝 [redacted]

・第3位 [redacted]

・第3位 [redacted]

●剣道女子 ※2名とも全県出場

・第3位 [redacted]

・第3位 [redacted]

●陸上男子個人 ☆は全県出場

・1年100M ☆第1位 [redacted]

・2年100M ☆第2位 [redacted]

・2年100M ☆第2位 [redacted]

・2年100M ☆第3位 [redacted]

・共通800M 第1位 [redacted]

・2, 3年1500M ☆第3位 [redacted]

・共通3000M ☆第3位 [redacted]

・共通砲丸投 ☆第3位 [redacted]

・低学年4×100Mリレー

☆第1位 ([redacted]、[redacted]、[redacted])

●陸上女子個人 ☆は全県出場

・1年100M ☆第1位 [redacted]

・1年100M ☆第2位 [redacted]

・1年100M 第3位 [redacted]

・2年100M 第3位 [redacted]

・3年100M ☆第1位 [redacted]

・3年100M ☆第3位 [redacted]

・共通200M 第1位 [redacted]

・共通200M 第2位 [redacted]

・共通800M 第1位 [redacted]

・1年1500M ☆第1位 [redacted]

・共通100mH ☆第3位 [redacted]

・共通走高跳 ☆第1位 [redacted]

・共通走幅跳 ☆第2位 [redacted]

・共通走幅跳 ☆第3位 [redacted]

・共通砲丸投 ☆第1位 [redacted]

・共通砲丸投 ☆第2位 [redacted]

・共通四種競技 ☆第1位 [redacted]

・低学年4×100Mリレー

☆第1位 ([redacted]、[redacted]、[redacted])

・共通4×100Mリレー

☆第1位 ([redacted]、[redacted]、[redacted])

●水泳男子

・100m自由形 第2位 [redacted] (全県出場)

・50m自由形 第5位 [redacted]

●ゴルフ

・第2位 [redacted] (全県出場)

学校の風景

昨年度、PTA役員の皆さんのお力を借りて花壇を整備しました。そして、ぐみの会を始め地域の方から花の苗の提供を受け、花壇が華やかになりました。

今年度は、追分小学校地域コーディネーター夏井さんからのご紹介として、追分地域の佐藤昌子（あきこ）様から「コキア（ホウキギ）」の苗をおすそ分けしていただきました。まだまだ小さいですが、夏は新緑の姿、そして秋には赤く色づいた姿を楽しむことができます。こうして地域の方のおかげで花壇がさらに華やかになっていきます。本当にありがとうございます。



本校の先輩が教育実習に



6月26日から7月14日の期間で、本校先輩の[]さんが教育実習を行っています。現在山梨学院大に在籍し、来年1月の箱根駅伝出場を目指しています。

大学卒業後は、秋田に戻ってきて陸上の指導を行いたいと考えているそうです。右に[]さんから生徒へのコメントを記載します。

- ・天南時代から陸上（長距離）に取り組んでいて、「箱根駅伝に出場したい」という明確な目標があったので、進路について挫折しそうになっても頑張れました。
- ・3年生の皆さんは、すき間時間の有効活用など、受験勉強を頑張ってください。
- ・2年生は、まずは部活動に全力で頑張ってください。
- ・1年生は、先輩たちの背中を見て、早く中学校生活に慣れてください。

7・8月の予定



7月

- 1日（土）県吹奏楽コンクール中央地区大会
- 2日（日）部活動休止日
- 3日（月）教育講演会「命の大切さ学習教室」
- 4日（火）3年実力テスト②
- 5日（水）県中総体壮行会
- 7日（金）漢字検定①
- 8日（土）県中総体剣道大会（～9日）
- 10日（月）幼児ふれあい体験（3年2組）
- 11日（火）先生方の研修会（5校時限）
男鹿海洋高校体験入学
- 12日（水）幼児ふれあい体験（3年4組）
前学期専門委員会⑤
- 13日（木）保護育成会あいさつ運動
- 14日（金）南中祭部門別会議、都城市交流事業
（生徒会執行部員3名 羽城中へ）
- 15日（土）県中総体各競技大会（～17日）
- 17日（月）海の日
- 18日（火）月曜授業（曜日変更）
幼児ふれあい体験（3年3組）
清掃強調週間～21日
- 19日（水）全校ボランティア活動、大清掃
- 20日（木）南中祭部門別会議
- 21日（金）全校集会（含 県総体等報告会）
- 22日（土）県中総体ラグビー大会～24日
通信陸上競技大会～24日
- 23日（日）夏季休業（～8/23）
- 24日（月）全校三者面談～28日
※学級によって変動があります
- 26日（水）秋田南高校体験入学
- 27日（木）全日本吹奏楽コンクール秋田県大会
秋田北高校、秋田高校、秋田西高校
各校体験入学
- 28日（木）能代高校、五城目高校、秋田商業高校
各校体験入学
厚生医療センター一日看護学生
- 30日（日）部活動休止日

8月

- 1日（火）能代松陽高校体験入学
- 3日（木）秋田中央高校体験入学
- 5日（土）秋田高専オープンキャンパス
兼 学校説明会
- 6日（日）部活動休止日
- 7日（月）1, 2年学習状況確認日・自修日
- 8日（火）3年学習相談日
- 11日（金）山の日
- 12日（土）学校閉庁～16日
※緊急連絡、相談等は市教育委員会へ
（853-5361）
- 21日（月）南中祭部門別会議 ※必要に応じて
- 23日（水）部活動休止日
- 24日（木）全校集会
1, 2年夏休み課題テスト
3年実力テスト③
保護育成会あいさつ運動
- 25日（金）全校アート制作（学年ごと）
- 27日（日）天南ソーラン隊地域活動
（追分西地区夏祭り参加）
- 28日（月）合唱練習週間（昼休み）～30日
- 29日（火）南中祭部門別会議
英語暗唱弁論大会（男鹿市文化会館）
- 30日（水）合唱コンクールリハーサル（学年別）
部活動休止日
- 31日（木）クラスアート提出締切日



◎PTA会報HP版について

さくらメールでもお知らせしたように、今年度はPTA会報をHP版として作成し、学校ホームページからリンクできるようにしています。以下のQRコードを読み込んでアクセスし、ご覧になってください。



学校HP



PTA会報No. 1